

日本応用藻類学会 第22回大会と総会のご案内

日本応用藻類学会会員各位

日本応用藻類学会会長 三上 浩司

日本応用藻類学会第22回大会を、下記の要領で開催しますので、ご案内致します。

記

1. **開催日** 2024年9月7日(土)10:30~18:00(シンポジウム), 9月8日(日)10:00~ (演題数に応じて変更)

2. **会場** 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学 楽水会館大会議室

3. 日程

9月7日(土)

9:30~ 受付開始

10:00~12:00 口頭発表

12:00~13:00 休憩

13:00~14:00 ポスター発表

14:15~16:45 企画シンポジウム

17:00~17:40 総会

9月8日(日)(演題数に応じて変更あり)

10:00~ 口頭発表

13:00~ エクスカーション(集合場所:京急平和島駅)

「大森さんぽ ~海苔問屋めぐりと海苔のふるさと館見学~」

(詳細は、「7. エクスカーション」を参照)

総会終了後、学術交流会(18:00~19:30)を予定しております(原則事前申込)。

4. 大会参加費(当日会場入り口の受付にて徴収)

日本応用藻類学会会員 : 事前申し込み 4,000円, 当日申し込み 5,000円

日本応用藻類学会非会員 : 事前・当日申し込みとも 7,000円

* 聴講のみ学部学生の参加費は無料にします(要旨の配布はしません)

* 当日入会される参加者は、当日参加費(5,000円)と年会費(一般:8,000円、学生:3,000円)を申し受けます。

* 事務局ではお弁当(¥1,000)の注文を受けます。

* 学術交流会は¥4,500円(税込み)となります(東京海洋大学内の大学会館食堂)。

* 事前参加申込期限は2024年8月30日(金)[必着]とします。

ただし、一般研究発表を希望される会員は、2024年8月14日(水)[必着]までに登録をお済ませください。

5. 参加申し込み方法

参加者は一般研究発表の有無に関わらず、別紙会員用または非会員用の参加登録票の様式により電子メールまたは FAX でお申し込みください。研究発表の共同研究者で参加を希望される方も、同様にお申し込みください。また大会終了後に、日本応用藻類学会総会を開催致します。**総会に欠席される会員は、別紙4の様式にて委任状の提出をお願い致します**(文書を郵送もしくは pdf ファイルをメールにて、庶務幹事まで提出お願い申し上げます)。

6. 参加申込票、一般研究発表登録票、発表要旨原稿の送付先

メールでの申し込み: info@applied-phycology.jp FAX での申し込み: 088-683-7027

岡 直宏 徳島大学水圏教育研究センター 〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り壱 96-14

日本応用藻類学会第22回大会 企画シンポジウム 「海苔の加工・流通-海苔学の創成に向けて-」

日本人にとって馴染み深い「海苔」。現在、その原藻としてスサビノリ (*Pyropia yezoensis*) が主要となっているが、本大会の開催地、品川・大森は、かつて江戸前海苔 (アサクサノリ *Pyropia tenera*) の産地であった。埋め立てが進んだ現在では、これらの紅藻アマノリを用いる海苔養殖は行われていないが、日本各地の海苔産地から板海苔やバラ干し海苔が集まる加工・流通の拠点であることには変わりない。地球温暖化、海水温上昇、海洋汚染、少子高齢化、沿岸開発、食の国際化が急速に進んでいる現在、海苔の加工・流通の様相は刻々と変化している (変化せざるを得ない状況となっている)。

日本応用藻類学会の特徴として、海藻、特にアマノリ類を研究対象とする研究者・学生が多く集うことが挙げられるが、これは応用藻類学においてこれらが、生物として、機能性物質供給源として、また食物として、如何に重要な位置を占めているかを物語っている。これらに加えて、経済学的・歴史学的視点から俯瞰した海苔の加工・流通 (その過去から現在) を学び、そして未来を考えることは、アマノリ生物学と海苔の流通・消費研究を結びつける契機となるため、アマノリ研究分野のこれまでにない発展を促すことが期待される。その実現に向けて、本企画では、人文・社会科学系の3名の講師をお招きし、海苔の加工・流通の今昔について最新の情報を提供頂く。このような人文・社会科学系の研究分野のシンポジウム企画は当学会では初めての試みとなるが、ご講演いただく講師と理系研究者が主要な本学会会員が意見交換を行い、議論・討論を深めることで文理融合的な「海苔学」の視界が開かれることを期待する。

企画責任者 山口健一, 三上浩司

プログラム

- 14:10~14:15 S01 趣旨説明
：山口健一 (長崎大学水産学部)
- 14:15~15:00 S02 江戸と海苔—その生産と流通
：吉田伸之 (東京大学名誉教授)
- 15:00~15:45 S03 共創時代の海苔産業 - 学術界に求められていること -
：日隈美朱 (富山大学経済学部)
- 15:45~16:30 S04 拡大する世界の海苔市場と韓国の海苔加工・流通の特徴
：林東薫 (韓国海洋水産経済研究所)・山本尚俊 (摂南大学農学部)・亀田和彦 (長崎大学水産学部)
- 16:30~16:45 S05 総合討論
：三上浩司 (宮城大学食産業学群)

7. エクスカーション

「大森さんぽ ～海苔問屋めぐりと海苔のふるさと館見学～」

大森には 40 軒ほどの海苔問屋があり、全国的に見てもめずらしい海苔専門店の集積地となっています。産地ごとにこだわった海苔の仕入れ・目利き、焼きの技術がそこにはあります。日本各地から海苔が集まる大森だからこそ楽しむことができる、産地の異なる海苔の食べ比べはいかがでしょう。海苔のふるさと館は、海苔づくりの伝統文化を伝える博物館で、1000 点の以上もの海苔養殖・加工・流通関連のコレクションが展示されており、海苔づくりの歴史・文化を学ぶことができます。海苔の本場「大森」を歩いて・見て・食べることで、海苔の養殖・加工・流通の歴史やその科学・技術の奥深さを知る良い機会になること間違いありません！

エクスカーションの参加費は無料です。是非ともご参加ください。

・集合時間・場所：9月8日(日) 13:00 京急平和島駅(詳細は学会会場にて配布)

・ハーフコース(90分程)とフルコース(180分程度)のどちらかを選択できます。

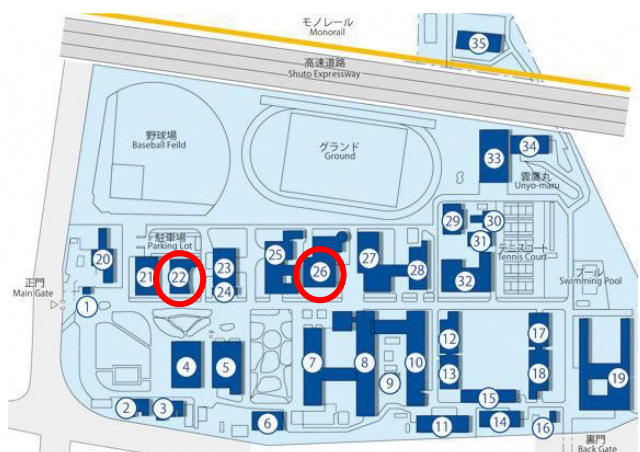
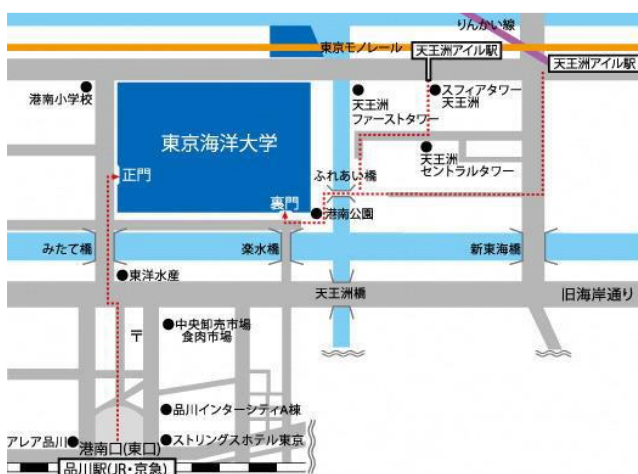
- ①ハーフコース(90分程)：京急平和島駅→老舗海苔店(海苔の松尾)→三原通り→大森海苔のふるさと館(京急平和島駅から海苔のふるさと館は、徒歩で約15分。海苔のふるさと館到着後、自由見学、現地解散)
- ②フルコース(180分程)：京急平和島駅→老舗海苔店(海苔の松尾)→三原通り→大森海苔のふるさと館→大森ふるさとの浜辺公園→海苔問屋(守矢武夫商店)→老舗海苔店(金子海苔店)→京急大森町駅(解散)
各コースの内容はおおまかな案です。内容詳細は若干変更する場合があります。ご了承ください。

8. 大会会場案内

東京海洋大学海洋科学部(品川キャンパス)

[交通手段]

- ・JR線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
- ・東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り約15分
- ・りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り約20分



※楽水会館は右図の 22 番、大学会館(学術交流会)は 26 番となります。

9. 一般研究発表の登録方法(口頭・ポスター発表を希望される方)

研究発表を希望される会員(演者のみ)は、別紙登録票と発表要旨の原稿を、電子メールで庶務幹事までお送りください。電子メールがお使いになれない会員は、庶務幹事までご連絡下さい。会場およびプログラム上の制約から、ポスター発表への変更を依頼する場合が生じるかもしれません。その場合はご協力をお願いします。

研究発表の演者は、日本応用藻類学会会員に限られます。非会員で演者として研究発表を希望される方は、事前に入会申込書(末尾に添付)をファックス、または、メールで送付後にご登録をお願い致します。なお、日本応用藻類学会の年会費は8,000円です(学生は3,000円)。

* 一般研究発表の登録 2024年8月14日(水)[必着]が期限です。

* 発表要旨原稿の送付 2024年8月21日(水)[必着]が期限です。

10. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式は、MS-WORD形式の電子ファイル、またはテキストファイルのみで受け付けます。原稿は、当日要旨集として配布するとともに、会の機関誌に掲載します。

掲載順序は演題、演者名、所属、本文の順に行を改めて書いて下さい。

共著の場合は演者名の前に○をつけて下さい。所属が異なるときは、各著者名の後ろに*、**、***印(上付き)を付し、所属の前に*、**、***印(上付き)を付して区別して下さい。

本文は目的、方法、結果などの小見出しを付けず、A4で1~2ページで記載してください。複数の図表(カラー可)の貼付けも可能です。フォントサイズや書式は事務局で統一するので、特に定めを設けません。ただし、なるべく全角文字(2バイト文字)はMS明朝体、英字(1バイト文字)はTimes New Romanを使用して下さい。2バイト特殊文字は、使用しないで下さい。(°は℃のように英字2文字に分けてください)

句読点は和文原稿の場合、「、」と「。」を使用して下さい。

学名表示は下線付き表示ではなく、イタリック(斜字体)で表示して下さい。打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、著者校正はありません。

原稿は、下記の送付先に、「応用藻類春シンポジウム要旨(山田—1)」のような件名で、電子メールの添付ファイルとしてお送り下さい。図表が使われる場合は、TIFかJPG形式で別途のファイルを添付してお送りください。なお、5Mb以上の原稿は直接受信できない場合がありますので、事前にご連絡をお願いします。特殊な記号やJIS外字を使った原稿については、照合用にFAXを必ずお送り下さい。

原稿送付先アドレス: info@applied-phycology.jp

例)

スジアオノリ陸上養殖のための組織培養を用いた種苗生産

喜多郁弥*・團昭紀**・岡直宏***・齋藤稔**・浜野龍夫**

(*徳島大院・総合科学教育部, **徳島大院・社会産業理工学研究部, ***BIRC 鳴門)

スジアオノリ *Ulva prolifera* は徳島県が全国シェアの大半を占めている。実験では、スジアオノリ藻体 200g を-30℃で凍結後、ブレンダーにかけ-

11. 発表形式

(1) 口頭発表

時間:発表 12 分, 質疑応答 3 分です。機器:デジタルプロジェクターのみが使用できます(OHP は使用できません)。ソフトウェアは Microsoft Power Point をご使用ください。

本大会で使用する OS および PowerPoint のバージョン:

Windows の方:Windows7 Office2010 以降

Macintosh の方:大変申し訳ありませんがパソコンをご持参し、プロジェクターに接続してください。

接続アダプタやケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。Macintosh のコネクターは、HDMI あるいは D-Sub (15pin)が接続可能です。

PowerPoint ファイルの受付: 午前の発表者は 9 時 30 分までに、午後の発表者は 12:30 までに演者用パソコンにご持参しコピーして下さい。データ受け渡しメディアは **USB メモリ**とします。USB についてはウィルスチェック済みのものをご使用いただき、講演ファイル以外は保存されないことにご留意下さい。上記メディアでの受け渡しができない方は発表前日までにご相談ください。発表者ご自身の氏名をファイル名に記してください(例:山田太郎—1.ppt)。口頭発表前の休憩時間等にスライドの動作を確認してください。

(2) ポスター発表

サイズ:縦 120 cm 以下, 横 90 cm 以下の大きさで作成して下さい。貼り付け用具:ピンまたはテープを事務局が準備します。必要記載事項:ポスターの上部(高さ 15~20 cm の範囲)に、発表番号, 表題, 氏名(所属)を明記して下さい。構成:目的, 実験結果, 結論などについてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。写真・図表:それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。フォント・図表サイズ:少し離れた場所からでも判読できるよう調整して下さい。

掲示期間:9 月 7 日(土) 11:00 までに所定の場所に掲示し, 17:15 までに撤収して下さい。ポスター集中討論を行いますので、その時間ポスター脇に待機してください。集中討論の時間は、学会ホームページに掲載されるプログラムをご確認ください。

【学生賞について】

口頭発表およびポスター発表で各 7 名以上の発表がある場合に限り、学生賞(優秀賞:口頭発表, ポスター各 1 名ずつ)を設けます。対象は、学士、修士、博士課程の学生に限ります。学生の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

【コロナウィルス対策について】

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に位置付けが変わったことから、政府の方針に従って日常の基本的感染対策は求めません。マスクの着用など各自で対応をお願いします。なお、大会会場には消毒用エタノールを準備していますので、適宜ご利用ください。

【大会企画責任者】

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立2-2-1 宮城大学 食産業学群 生物生産学類

三上浩司 E-mail: info@applied-phycology.jp

日本応用藻類学会第22回大会

参加登録票【日本応用藻類学会会員用】

整理番号()

メールでのお申込みは info@applied-phycology.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡直宏 行

FAXでの申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

締切(必着): **事前参加登録8月30日(金)**

一般研究発表登録8月14日(水), 発表要旨原稿提出8月21日(水)

氏名

所属

Tel - - Fax - - E mail @ _____.

参加登録形態(□にチェック, または, 不要な選択肢を削除してください)

a. 一般研究発表: □しない(聴講のみ), □共著者として発表

□演者として発表(口頭 Windows/Macintosh), □演者として発表(ポスター)

演題:

発表者氏名(所属)(共著者がいる場合は, 演者の左肩に○をつけて下さい):

* 演者のみ記入。複数発表されるかたは別票に記入し, 特に発表順番を指定する場合は, 本欄余白に記入してください。発表要旨原稿は8月21日(必着)までにメールでご送付ください。

b. 弁当(お茶付きで1,000円を予定): 9月7日(土) □注文する, □しない

c. 学術交流会(会費4,500円を予定): □参加, □不参加

d. エクスカーション: □参加, □不参加

e. 同伴非会員: □同伴者なし, □非会員を同伴する→同伴者のご氏名と所属

氏名(所属): _____ 計 名

同伴非会員学術交流会出席 _____ 名出席

*** 複数発表される場合は, その分の本票を送付してください。**

日本応用藻類学会第22回大会

参加登録票【非会員用】

整理番号()

メールでのお申込みは info@applied-phycology.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAXでの申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

ご芳名

ご所属

Tel - - Fax - - E mail @

(□にチェック、または、不要な選択肢を削除してください)

a. 弁当(お茶付きで1,000円を予定): 9月7日(土) □注文する, □しない

こちらを利用するか、あるいは事前に昼食を購入し持参することをお薦めします

b. 学術交流会(会費4,500円を予定): □参加, □不参加

c. エクスカーション: □参加, □不参加

d. 同伴者: □あり, □なし

氏名(所属): _____ 計 名

同伴非会員学術交流会出席 _____ 名出席

別紙 3

No.

日本応用藻類学会入会申込書

私は、日本応用藻類学会の活動趣旨に賛同し、個人会員としての入会を申請します。

年 月 日

ふりがな

氏名:

所属(職名):

所属の住所:(〒 -)

印刷物送付先住所(ご自宅へ送付希望の方や所属の住所と異なる場合のみご記入ください)

電話番号: _____

FAX 番号: _____

E-mail: _____@_____

研究分野またはご興味のある分野に○を付けてください

○専門分野

生物学 生化学 工学 栄養・食品学 医学 薬学 総合科学 その他()

○研究内容

- ・生理制御: 環境応答 形態形成 光合成 遺伝子発現 オミックス解析
- ・生体分子: 機能性 香気 呈味 色素
- ・技術: 加工 分析 増養殖 藻場造成
- ・資源: バイオマス バイオ燃料
- ・その他()

委 任 状

2024 年 月 日

日本応用藻類学会
会長 三上 浩司 殿

機関名: _____

連絡担当者名: _____

代理人については、下の 1 または 2 に○印をつけて下さい(※2 を選んだ場合には代理人名をご記入下さい)。

1. 私は議長を代理人と定め下記の権限を委任します。
2. 私は出席会員 _____ を代理人と定め下記の権限を委任します。

記

日本応用藻類学会の 2024 年度総会に出席し、議決権を行使する一切の件。

以上

別紙 5

会費振込先: 振込み手数料はご負担ください。

また現金で振り込まれる場合は、電信扱いでの振込みが必要となります。

会費振込先:

【ゆうちょ銀行】郵便局から振り込まれる場合

記号: 19510

番号: 04371971

加入者名: 日本応用藻類学会

【ゆうちょ銀行】郵便局以外の金融機関から振り込まれる場合

店名: 九五八(読み: キュウゴハチ)

店番: 958

預金種目: 普通預金

口座番号: 0437197

名義: 日本応用藻類学会

事務局連絡先:

三上 浩司(会長)

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2 丁目 2 番 1 号 宮城大学 食産業学群 生物生産学類

岡 直宏(庶務)

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 96-14 徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター

TEL&FAX 088-683-7027, E-mail: info@applied-phycology.jp